

建廃協NEWS新春号



2016年新年を迎えて

皆さま、あけましておめでとうございます。
清しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
大変厳しい経済状況で推移した旧年でした。新しい年が、皆さまにおかれましても、大きな飛躍の年となりますよう、心より祈念しております。

私ども建廃協では、40年目の節目の年に、2つの新しい事業を始めました。

一つは、東京都の助成をいただき、「雇用環境改善事業」に取り組んでいます。建設業界では職人不足、作業員の高齢化が深刻となっておりますが、私たちの業界ではそれ以上の状態ではないでしょうか。そうした中で、一方では大学新卒の積極的な採用を目指す企業も出てきています。今回の事業は、建設廃棄物処理業界が3K産業から脱皮し、若年者が積極的に入職し、定着する産業となっていくことを目指すものです。来年度にかけ2か年で実施します。多くの組合員の積極的参加をお願いします。

もう一つは、建設汚泥に関する取り組みです。大量の建設汚泥の発生が予想され、一方では海洋投入処分が厳しく規制される等、建設汚泥の処理が困難となってきています。この状況を打開するため、（一社）日本建設業連合会では、東京都の再生資源利用促進モデル事業に応募し、建築工事において建設汚泥改良土を利用していく事業に取り組んでいます。建廃協はその事業に協力しています。今年度限りの事業ですが、建築工事において汚泥改良土が再認識され、新たな利用が生まれるなど一定の成果を見ています。これを継続できる仕組みにしていくことが望まれるところです。

次の50周年に向けて、一步一步着実な歩みを踏みしめてまいります。
本年も変わらず、ご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

建設廃棄物協同組合 理事長 島田 啓三

